

ESMPRO/JMSS Ver6.0 Web クライアント

ユーザーズマニュアル

はしがき

本書は、ESMPRO/JMSS Web クライアント（以降 Web クライアントと称します）の機能と操作方法について説明しています。

本書の構成は次のとおりです。

章	タイトル	内 容
1	概要	ESMPRO/JMSS Webクライアントの概要について
2	環境設定	ESMPRO/JMSS Webクライアントの環境について
3	操作	ESMPRO/JMSS Webクライアントの使い方について

なお、セットアップ方法については、セットアップカードを参照してください。

2001年 7月 初 版

備考

- (1) 本書は、Microsoft® Windows NT® 4.0/ Microsoft® Windows® 2000に対応しています。
- (2) Microsoft およびMS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows NTは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
Windows NT 4.0は、Microsoft® Windows NT® Server 4.0の略称です。
Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、Microsoft® Windows® 2000 Serverの略称です。
JMSSは、NECソフト株式会社の登録商標です。
その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

はしがき	i
目次	ii
第 1 章 概要	1
1.1 Web クライアントとは	1
1.1.1 ジョブ稼働・監視	1
1.1.2 スケジュール	1
1.1.3 業務運用メニュー	1
1.1.4 イベント送信	1
1.1.5 サーバ環境設定	1
1.1.6 個人環境設定	2
1.2 動作環境	2
第 2 章 環境設定	3
2.1 Internet Information Server の設定	3
2.1.1 仮想ディレクトリの作成	3
2.1.2 セキュリティの設定	3
2.2 ブラウザの設定	3
2.3 JMSS セキュリティの設定	4
第 3 章 操作	5
3.1 Web クライアントの起動	5
3.2 接続 JMSS サーバの登録	7
3.3 JMSS サーバへの接続	8
3.4 ジョブ稼働・監視	9
3.4.1 ジョブ稼働・監視を利用するには	9
3.4.2 ジョブの標準出力内容を表示するには	10
3.4.3 ジョブ詳細情報を表示するには	10
3.4.4 ジョブネットワークを表示するには	11
3.4.5 ジョブを制御するには	12
3.4.6 エラーコードの説明を表示するには	13
3.5 スケジュール	14
3.5.1 スケジュールを表示するには	14
3.5.2 スケジュールを一時変更するには	15
3.5.3 スケジュールを変更するには	15
3.5.4 スケジュールを削除するには	16

3.5.5	カレンダーを表示するには	17
3.5.6	カレンダーを追加するには	17
3.5.7	カレンダーを変更するには	18
3.5.8	カレンダーを削除するには	18
3.5.9	イベント起動ジョブを表示するには	19
3.5.10	イベント起動ジョブを変更するには	20
3.5.11	イベント起動ジョブを削除するには	20
3.6	業務運用メニュー	21
3.6.1	業務運用メニューを利用するには	21
3.6.2	ジョブを投入するには	22
3.7	イベント送信	23
3.7.1	イベント送信を利用するには	23
3.8	サーバ環境設定	25
3.8.1	サーバ環境設定を利用するには	25
3.8.2	ジョブキューを表示・設定するには	26
3.8.3	ジョブキューを追加するには	27
3.8.4	ジョブキューを削除するには	27
3.8.5	ジョブ稼働マシンを表示・設定するには	28
3.8.6	ジョブ稼働マシンを追加するには	29
3.8.7	ジョブ稼働マシンを削除するには	29
3.8.8	サービス環境を表示・設定するには	30
3.8.9	ジョブ監視を設定するには	30
3.8.10	ジョブ稼働を設定するには	31
3.8.11	データベース出力を設定するには	31
3.8.12	パフォーマンスカウンタ出力を設定するには	32
3.8.13	スケジュールを設定するには	32
3.8.14	JMSS セキュリティを表示・設定するには	33
3.8.15	初期メニューファイルを登録するには	34
3.9	個人環境設定	35
3.9.1	個人環境設定を利用するには	35
3.9.2	ジョブ稼働・監視の画面表示を設定するには	36
3.9.3	業務運用メニューの画面表示を設定するには	36
3.9.4	ジョブネット状況表示の画面表示を設定するには	36

第1章 概要

1.1 Web クライアントとは

Webクライアントでは、JMSSの「JLook」「JSchedule」「JMenu」「JEnv」「JESENDコマンド」の機能を、Webブラウザから利用することができます。

1.1.1 ジョブ稼働・監視

JMSS/JLookの機能のうち、ジョブの監視、ジョブ情報の表示、ジョブの制御を行うことができます。

1.1.2 スケジュール

JMSS/JScheduleの機能のうち、スケジュールの変更、カレンダーの追加・変更、イベント起動ジョブの変更を行うことができます。

1.1.3 業務運用メニュー

JMSS/JMenuの機能のうち、初期メニューの表示、初期メニューからのジョブ投入を行うことができます。また、初期メニューファイルの登録は「サーバ環境設定」で設定します。

1.1.4 イベント送信

JESENDコマンドを実行することができます。

1.1.5 サーバ環境設定

JMSS/JEnvの全機能（ジョブキューの設定、ジョブ監視、ジョブ稼働、スケジュールなどのサービスの設定、JMSSセキュリティの設定）と、初期メニューファイルの登録を行うことができます。

1.1.6 個人環境設定

Webクライアントでのジョブ情報一覧表示、ジョブネット状況表示、業務運用メニューの表示設定を行います。

1.2 動作環境

クライアント/サーバ環境でWebクライアントを利用するには、それぞれ適切なハードウェアとソフトウェア、ネットワークの環境条件を満たす必要があります。

動作環境については、セットアップカードを参照してください。

第2章 環境設定

2.1 Internet Information Server の設定

Webクライアントを利用するためのInternet Information Server(IIS)の設定について説明します。

2.1.1 仮想ディレクトリの作成

Webクライアントで利用するWebファイルのディレクトリを仮想ディレクトリとして作成してください。

作成方法については、セットアップカードを参照してください。

2.1.2 セキュリティの設定

Webクライアントでは、NT 認証を設定してください。

設定方法については、セットアップカードを参照してください。

2.2 ブラウザの設定

「Internet Explorer」をWebブラウザとして利用する場合は、オプション設定を変更してください。

設定方法については、セットアップカードを参照してください。

2.3 JMSS セキュリティの設定

Webクライアントを利用するには、JMSSと同様にJMSSセキュリティの設定が必要です。

ジョブ稼働・監視	JMSS 利用権が必要。また、他ユーザが投入したジョブの監視・強制終了を行う場合は、他ユーザ監視/強制終了権が必要。
スケジュール	スケジュール使用権が必要。
業務運用メニュー	JMSS 利用権が必要。
イベント送信	JMSS 利用権が必要。
サーバ環境設定	参照の場合は、JMSS 利用権が必要。編集の場合は、セキュリティ設定権が必要。
個人環境設定	JMSS 利用権が必要。

Webクライアントが所属するJMSSサーバ(セットアップ時に指定したJMSSサーバ)以外の他のJMSSサーバに接続する場合は、次のような設定が必要です。

接続先のJMSSサーバで、JMSSセキュリティのセキュリティ設定権を持っているユーザでWindowsにログオンします。

[スタートメニュー]の[プログラム]の[ESMPRO/JMSS]から、JEnvを起動します。

[JMSS/JEnv]メインウィンドウのコマンド選択ボックスから [JMSSセキュリティ]を選択します。

右側の権利詳細パネルの[サーバ名]コンボボックスに、Webクライアントが所属するJMSSサーバ名を入力し、TABキーを押下します。

所属するユーザ(グループ)一覧と、所属しないユーザ(グループ)一覧が表示されますので、設定したいユーザ(グループ)を追加・削除します。

他のドメインのJMSSサーバに接続する場合は、さらに次のような設定が必要です。

- ・ 接続するユーザを接続先ドメインにも定義する。
- ・ 接続先と接続元のドメインの間で相互に信頼関係を設定する。

第3章 操作

3.1 Web クライアントの起動

Webブラウザの[アドレス]に「http://コンピュータ名またはIPアドレス/jmss_web」と入力して実行すると、Webクライアントの初期画面が表示されます。



機 能	説 明
JMSS サーバー一覧	登録されている JMSS サーバ名が表示されます。別名が登録されている場合は、[別名(サーバ名)]の形式で表示されます。サーバ名を選択すると、選択したサーバに接続します。
設定	Web クライアントで接続する JMSS サーバを登録します。
ヘルプ	Web クライアントのオンラインヘルプが表示されます。
バージョン情報	Web クライアントのバージョン情報が表示されます。
TOP に戻る	Web クライアントの初期画面に戻ります。

注意：Webクライアントは、アドレスを入力したウィンドウとは別に、新しいウィンドウに初期画面を表示します。アドレスを入力したウィンドウは、下記表示がされますので閉じてください。



3.2 接続 JMSS サーバの登録

Webクライアントで接続するJMSSサーバを登録します。[設定]を選択するとJMSSサーバの登録画面が表示されます。ここで登録したJMSSサーバにWebクライアントで接続できるようになります。またサーバ名には識別しやすい任意の名前を付けることができます。

項 目		説 明
サーバ名 登録	登録済み JMSS サーバ	登録されている JMSS サーバ名が表示されます。JMSS サーバ名を選択すると[サーバ名]、[別名]に表示されます。
	サーバ名	登録・削除する JMSS サーバ名を指定します。
	別名	実 JMSS サーバ名以外の任意の名前を付けることができます。
	登録	[サーバ名]に指定した JMSS サーバを登録します。
	削除	[サーバ名]に指定した JMSS サーバを削除します。Web クライアントが所属する JMSS サーバは削除できません。
表示方法	サーバ名のみ	JMSS サーバー一覧にサーバ名のみが表示されます。
	別名のみ	JMSS サーバー一覧に別名のみが表示されます。別名が登録されていない場合は、サーバ名が表示されます。
	両方	JMSS サーバー一覧に[別名(サーバ名)]の形式で表示されます。別名が登録されていない場合は、サーバ名が表示されます。
更新		設定内容が左フレームの JMSS サーバー一覧に表示されます。

3.3 JMSS サーバへの接続

JMSS サーバ一覧に表示されているサーバ名を選択するとJMSSサーバに接続します。JMSSサーバへの接続が完了すると、接続したJMSSサーバの初期画面が表示されます。



画面説明

JMSSサーバに接続した状態の画面について説明します。



番号	フレーム名	説明
	ナビゲーションバー	Web クライアントへのログオンユーザ名、各機能へのリンクが表示されます。
	コンポーネントバー	機能名、接続先 JMSS サーバ名が表示されます。 機能内にさらに機能がある場合は、それら機能へのリンクが表示されます。
	メニューバー	表示情報名、各機能のツールボタンが表示されます。
	データエリア	各機能で利用するエリアです。

3.4 ジョブ稼働・監視

Webクライアントのジョブ稼働・監視の利用方法について説明します。

3.4.1 ジョブ稼働・監視を利用するには

ナビゲーションバーの[ジョブ稼働・監視]を選択します。選択するとジョブ情報一覧が表示されます。

ジョブNO	業務名	日付	開始	終了	経過時間	状態	終了コード	ユーザ名	稼働マシン
0000000545	イベント受信待ち	05/12 23:59			08:19:58	イベント待ち	(1284)	USER1	SERVER1
0000000544	日次処理	05/12 20:00	20:14	00:14:59		終了	00000000	USER1	SERVER1
0000000531	ジョブネット	05/12 17:30			14:48:03	実行中		USER1	SERVER1
0000000529	イベント起動業務	05/12 17:15	17:15	00:00:01		終了	00000000	USER1	SERVER1
0000000528	イベント送信	05/12 17:15	17:15	00:00:35		終了	00000000	USER1	SERVER1
0000000526	繰り返しジョブ	05/12 17:00			15:18:58	一時停止		USER1	SERVER1
0000000525	コマンド実行	05/12 16:48	16:52	00:04:15		終了	00000000	USER1	SERVER1
0000000514	ジョブネット	05/12 16:33	16:47	00:13:55		強制終了	ffffff	USER1	SERVER1
0000000513	業務	05/12 16:16	16:16	00:00:00		終了	00000000	USER1	SERVER1
0000000512	業務	05/12 16:16	16:16	00:00:00		起動エラー	20100001	USER1	SERVER1

機 能	説 明
前のページ	前のページのジョブ情報が表示されます。先頭ページが表示されている場合は、選択不可になります。
次のページ	次のページのジョブ情報が表示されます。最終ページが表示されている場合は、選択不可になります。
TOP に戻る	ジョブ情報の先頭ページが表示されます。
更新	最新のジョブ情報に更新します。
ジョブ情報	ジョブ情報一覧が表示されます。
ジョブキュー情報	ジョブキュー情報一覧が表示されます。

[ジョブ情報]または[ジョブキュー情報]を選択すると表示情報が切り替わります。

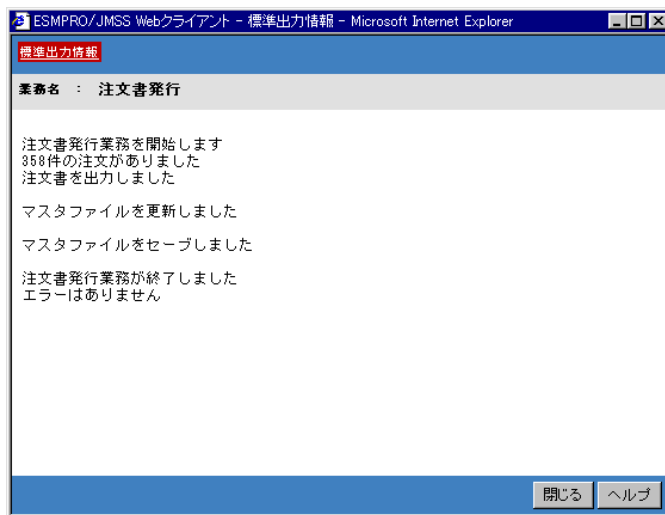
また、ジョブ情報一覧の「業務名」が選択可能な場合に選択すると、派生ジョブのジョブ情報一覧が表示されます。

最新情報を表示するには[更新]を選択します。また[個人環境設定]で自動更新を設定することができます。

また、[個人環境設定]でジョブ情報一覧の表示設定をすることができます。[個人環境設定]については「3.9.2 ジョブ稼働・監視の画面表示を設定するには」を参照してください。

3.4.2 ジョブの標準出力内容を表示するには

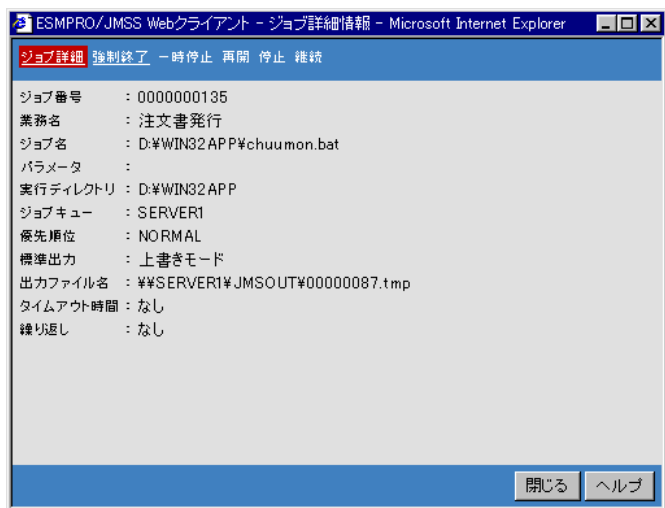
ジョブ情報一覧のジョブタイプアイコン上にマウスポインタがあるときに「標準出力あり」と表示される場合は、ジョブタイプアイコンを選択すると、[標準出力情報]ウィンドウが表示されます。



標準出力内容を更新する場合は、[標準出力情報]を選択してください。

3.4.3 ジョブ詳細情報を表示するには

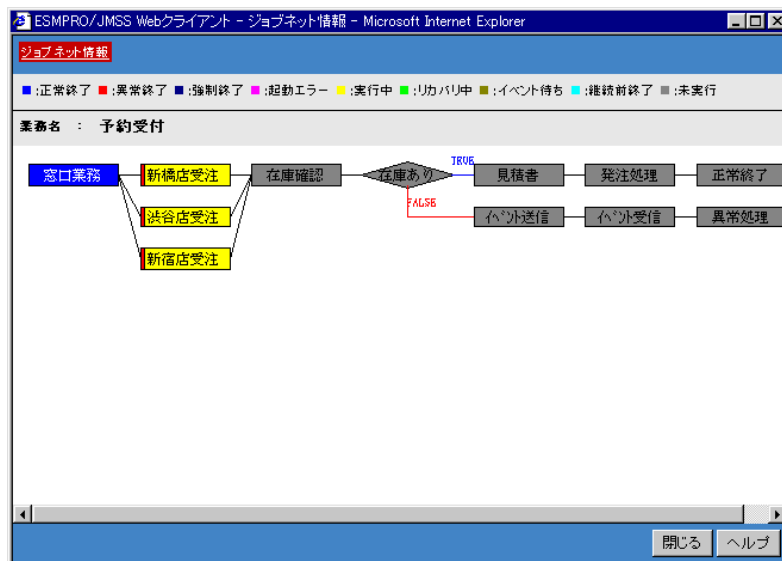
ジョブ情報一覧のジョブ番号を選択すると、[ジョブ詳細情報]ウィンドウが表示されます。



ジョブ詳細情報を更新する場合は、[ジョブ詳細]を選択してください。

3.4.4 ジョブネットワークを表示するには

ジョブ情報一覧のジョブタイプアイコン上にマウスポインタがあるときに「ジョブネット」と表示される場合は、ジョブタイプアイコンを選択すると、[ジョブネット情報] ウィンドウが表示されます。



ジョブネット状況表示を更新する場合は、[ジョブネット情報]を選択してください。

また、[個人環境設定]でジョブボックスの表示形式を変更することができます。[個人環境設定]については「3.9.3 ジョブネット状況表示の画面表示を設定するには」を参照してください。

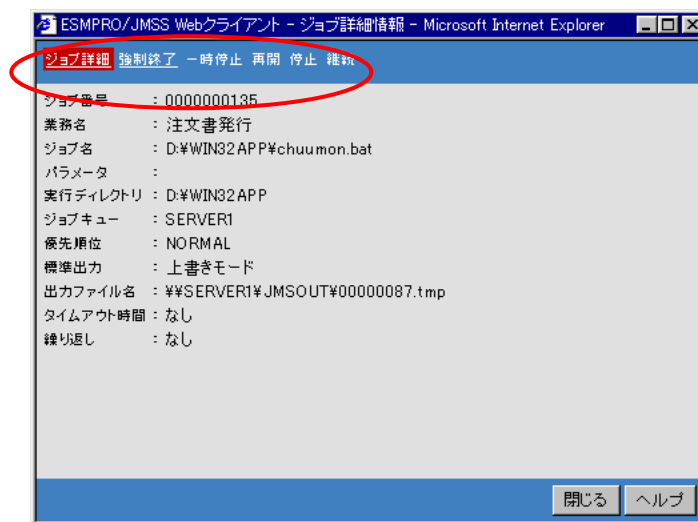
注意： ジョブネット表示からさらにジョブネットを表示することはできません。
ジョブネット表示から、ジョブネットの一時停止、再開を行うことはできません。

3.4.5 ジョブを制御するには

[ジョブ詳細情報]ウィンドウより選択したジョブを制御することができます。[ジョブ詳細情報]ウィンドウの上部にある各制御が実行可能な場合に選択可能になります。ジョブの状態により、強制終了、一時停止、再開、停止、継続、ジョブキューの状態により強制終了、登録削除、保留、保留解除、登録削除を行うことができます。

状態を変更した場合は、ジョブ情報一覧のメニューバーから[更新]を選択してジョブ情報一覧表示を更新してください。

- ・ジョブ情報一覧から[ジョブ詳細情報]ウィンドウを表示した場合





- ・ジョブキュー情報一覧から[ジョブ詳細情報]ウィンドウを表示した場合



備考：制御の種類については、JMSSユーザズマニュアルの「ジョブ稼働・監視 (JMSS/JLook)」を参照してください。

3.4.6 エラーコードの説明を表示するには

終了コードが赤または青で表示されている場合は、アイコンにマウスポインタを移動すると、エラーコードの説明が表示されます。

終了	経過時間	状態	終了コード
L6	04:16	00:00:00	起動エラー  20100001
指定されたジョブが見つかりません。指定されたジョブが存在しているか、また、投入マシンと稼働マシンが異なる場合には、稼働マシン上で参照できる共有ディレクトリ上に存在しているか(共有ディレクトリになっているか)確認してください。			

3.5 スケジュール

Webクライアントのスケジュールの利用方法について説明します。

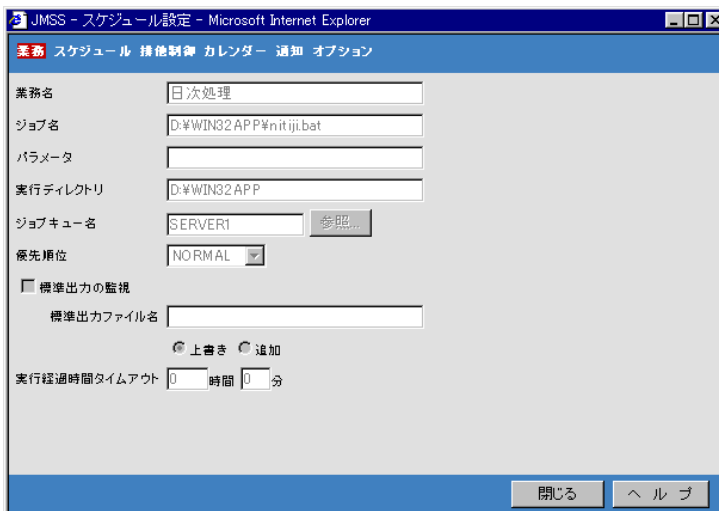
3.5.1 スケジュールを表示するには

ナビゲーションバーの[スケジュール]を選択します。選択すると、スケジュール一覧が表示されます。



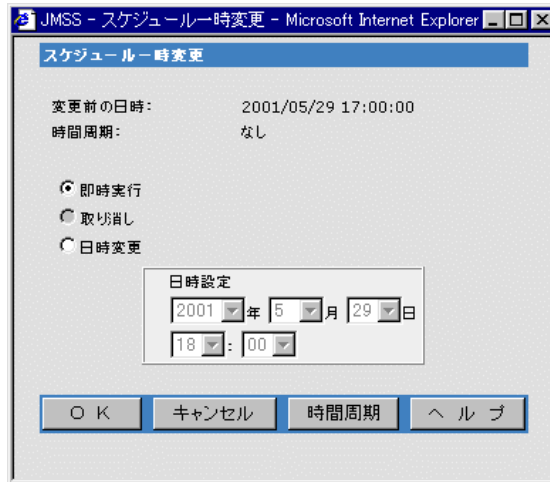
コンポーネントバーの[スケジュール]を選択すると、スケジュール一覧が表示されます。スケジュール一覧には、指定日一覧と全登録一覧があります。メニューバーの[全一覧]ボタンあるいは[指定日]ボタンを選択すると表示が切り変わります。

[業務名]を選択すると、[スケジュール設定]ウィンドウが表示されます。



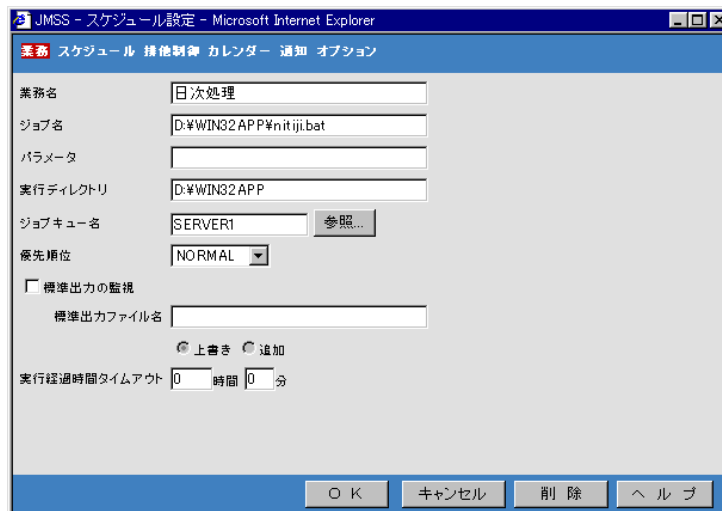
3.5.2 スケジュールを一時変更するには

スケジュールを一時変更するには、スケジュール一覧を指定日一覧にして一時変更するスケジュールの左横の[一時変更]ボタンを選択してください。選択すると[スケジュール一時変更]ウィンドウが表示されますので、各項目を設定して[OK]ボタンを選択してください。



3.5.3 スケジュールを変更するには

スケジュールを変更するには、スケジュール一覧を全登録一覧にして変更するスケジュールの左横の[変更]ボタンを選択してください。選択すると[スケジュール設定]ウィンドウが表示されますので、各項目を設定して[OK]ボタンを選択してください。



3.5.4 スケジュールを削除するには

スケジュールを削除するには、[スケジュール設定]ウィンドウを表示して[削除]ボタンを選択してください。

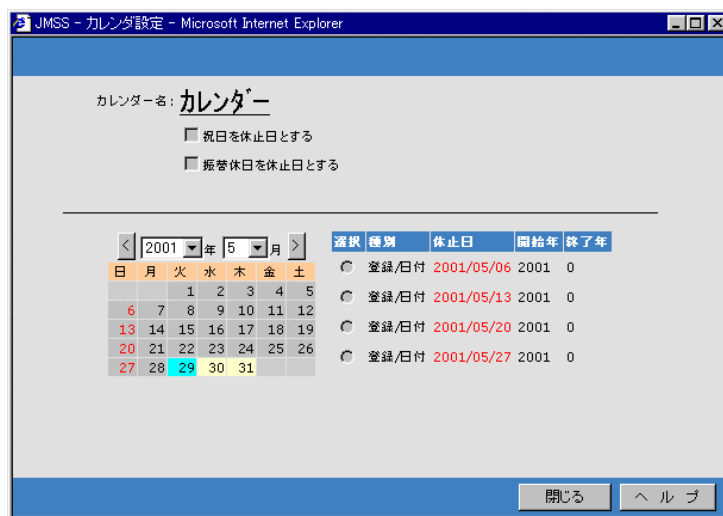
備考：各設定項目については、JMSSユーザーズマニュアルの「自動運転・スケジュール管理(JMSS/JSchedule)」を参照してください。

3.5.5 カレンダーを表示するには

コンポーネントバーの[カレンダー]を選択すると、登録されているカレンダー一覧が表示されます。



[カレンダー名]を選択すると、[カレンダー設定]ウィンドウが表示されます。



3.5.6 カレンダーを追加するには

カレンダーを追加するには、メニューバーの入力ボックスにカレンダー名を入力して[追加]ボタンを選択してください。

3.5.7 カレンダーを変更するには

カレンダーを変更するには、変更するカレンダー名の左横の[変更]ボタンを選択してください。選択すると[カレンダー設定]ウィンドウが表示されますので、各項目を設定して[OK]ボタンを選択してください。

3.5.8 カレンダーを削除するには

カレンダーを削除するには、[カレンダー設定]ウィンドウを表示して[削除]ボタンを選択してください。

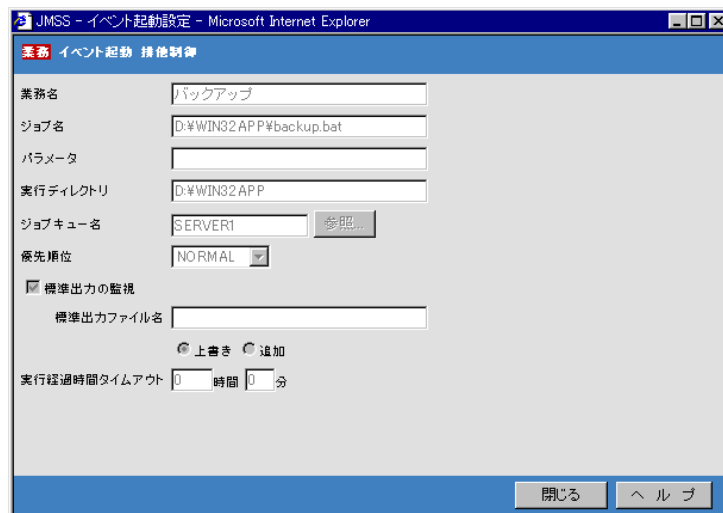
備考：各設定項目については、JMSSユーザーズマニュアルの「自動運転・スケジュール管理(JMSS/JSchedule)」を参照してください。

3.5.9 イベント起動ジョブを表示するには

コンポーネントバーの[イベント起動ジョブ]を選択すると、イベント起動ジョブ一覧が表示されます。



[業務名]を選択すると、[イベント起動設定]ウィンドウが表示されます。



3.5.10 イベント起動ジョブを変更するには

イベント起動ジョブを変更するには、変更するイベント起動ジョブの左横の[変更]ボタンを選択してください。選択すると[イベント起動設定]ウィンドウが表示されますので、各項目を設定して[OK]ボタンを選択してください。

3.5.11 イベント起動ジョブを削除するには

イベント起動ジョブを削除するには、[イベント起動設定]ウィンドウを表示して[削除]ボタンを選択してください。

備考：各設定項目については、JMSSユーザーズマニュアルの「自動運転・スケジュール管理(JMSS/JSchedule)」を参照してください。

3.6 業務運用メニュー

Webクライアントの業務運用メニューの利用方法について説明します。

3.6.1 業務運用メニューを利用するには

ナビゲーションバーの[業務運用メニュー]を選択します。選択すると初期メニューが表示されます。



メニューを利用するにはあらかじめ初期メニューファイルを登録しておく必要があります。初期メニューファイルが登録されている場合は、初期メニューが表示されます。初期メニューファイルが登録されていない場合や存在しない場合には、エラーメッセージが表示されますので、初期メニューファイルの登録を確認してください。

また、[個人環境設定]でメニューの表示設定をすることができます。[個人環境設定]については「3.9.3 業務運用メニューの画面表示を設定するには」を参照してください。

注意：メニュー表示中にメニューが更新された場合は、[更新]で更新してください。

3.6.2 ジョブを投入するには

業務アイコンを選択するか、業務アイコン番号を指定して[実行]ボタンを選択すると、業務が実行されます。業務アイコンにメニューが指定されている場合は、そのメニューが表示されます。

機 能	説 明
[<]	1 つ前のメニューに戻ります。
TOP に戻る	初期メニューに戻ります。初期メニューを表示している場合は、選択不可になります。
更新	表示中のメニューを最新の状態に更新します。メニューが更新された場合に選択してください。

3.7 イベント送信

Webクライアントのイベント送信の利用方法について説明します。

3.7.1 イベント送信を利用するには

ナビゲーションバーの[イベント送信]を選択します。選択すると、イベント送信画面が表示されます。

The screenshot shows the ESM/PRO/JMSS web application interface. The title bar indicates it's running in Microsoft Internet Explorer. The main header shows 'ESM/PRO/JMSS - USER1 -' and a 'HOME' link. Below the header is a navigation bar with links: 'ジョブ稼働・監視', 'スケジュール', '業務運用メニュー', 'イベント送信' (selected), 'サーバ環境設定', and '個人環境設定'. The left sidebar contains links: 'JMSSサーバー一覧' (with 'SERVER1' and 'SERVER2' listed), '設定', 'ヘルプ', 'バージョン情報', and 'TOPに戻る'. The main content area is titled 'イベント送信' and 'SERVER1'. It contains the following fields and controls:

- 送信先JMSSサーバ名: Text input field.
- 送信先ジョブキュー名: Text input field.
- イベントID: Text input field.
- メッセージ: Text input field.
- 送信結果出力: ☐ 出力しない
- パラメータ: A table with two columns: '変数(変数名のみ入力)' and '値'. There are two rows of input fields. A '追加' (Add) button is to the right of the table.
- 送信: Button.
- キャンセル: Button.

At the bottom, there is a help section with the following text:

- 送信先JMSSサーバ名: JMSSサーバ名を15バイト以内で指定します(省略可)。
- 送信先ジョブキュー名: ジョブキュー名を15バイト以内で指定します(省略可)。
- イベントID: イベントIDを英数4バイト以内で指定します(省略できません)。
- メッセージ: メッセージを64バイト以内で指定します(省略可)。
- 送信結果出力: 送信後、表示されるメッセージに結果を出力しない場合指定します。
- パラメータ: JScheduleのイベント起動ジョブの[業務名]、[パラメータ]に設定される置換文字列「\$変数\$」を「値」に置換します(省略可)。

項 目	説 明
送信先 JMSS サーバ名	送信先の JMSS サーバ名を 15 バイト以内で指定します。省略すると、 接続している JMSS サーバとなります。
送信先ジョブ キュー名	送信先のジョブキュー名を 15 バイト以内で指定します。省略すると、 全てのジョブキューとなります。
イベント ID	送信するイベント ID を英数 4 バイト以内(大文字・小文字区別)で指 定します。この項目は省略できません。
メッセージ	送信するメッセージを 64 バイト以内で指定します。
送信結果出力	指定すると、送信終了後に表示されるダイアログに指定情報が表示さ れません。
パラメータ	JSchedule のイベント起動ジョブの[業務名]、[パラメータ]に設定され ている置換文字列「\$変数\$」を値に置換します。

各項目に必要な情報を入力して[送信]ボタンを選択すると、イベントが送信されます。
イベント送信が終了すると、「イベントは正常に送信されました。」というダイアロ
グボックスが表示されます。「送信結果出力」が指定されている場合は、送信結果も表
示されます。

注意：送信終了のメッセージが表示されるまでは他ページに移動しないでください。

3.8 サーバ環境設定

Webクライアントのサーバ環境設定の利用方法について説明します。

3.8.1 サーバ環境設定を利用するには

ナビゲーションバーの[サーバ環境設定]を選択します。選択すると、ジョブキュー設定画面が表示されます。



本機能は、JMSSセキュリティ設定権を持つユーザが使用する場合は、コンポーネントバーに【編集モード】が表示され、各種設定ができます。JMSSセキュリティ設定権を持たないユーザが使用する場合は、コンポーネントバーに【参照モード】が表示され、[ジョブキュー設定]と[サービス設定]の参照のみができます。

備考：各画面の各設定項目については、JMSSユーザズマニュアルの「運用環境設定 (JMSS/JEnv)」を参照してください。

3.8.2 ジョブキューを表示・設定するには

コンポーネントバーの[ジョブキュー設定]を選択すると、ジョブキュー一覧が表示されます。

ESM/PRO/JMSS - Microsoft Internet Explorer

ESM/PRO/JMSS - USER1 -

HOME

ジョブ稼働・監視 スケジュール 業務運用メニュー イベント送信 サーバ環境設定 個人環境設定

サーバ環境設定【編集モード】 ジョブキュー設定 サービス設定 ユーザ設定 SERVER1

ジョブキュー設定

ジョブキュー

ジョブキュー名	状態	ジョブキュー多重度	ジョブキュー優先度	リトライ回数	リトライ間隔
USERQUEUE2	閉	100	8	5	1

ジョブキューセキュリティ

一覧表示 ユーザ グループ

サーバ名 SERVER1 決定

所属するユーザ

*Everyone(全てのユーザ)

↑ 追加 ↓ 削除

所属しないユーザ

Administrator
BackupUser
Developer (Developer's)
Everyone
Guest

関連マシン

所属するマシン

SERVER1
SERVER3

↑ 追加 ↓ 削除

所属しないマシン

SERVER2

登録 削除 キャンセル

ジョブキュー一覧のジョブキュー名を選択すると、ジョブキューの設定画面が表示されます。各設定項目を入力して[登録]ボタンを選択すると、ジョブキューの設定が登録されます。

備考：選択したジョブキューがデフォルトジョブキューの場合は、[関連マシン]の[追加]ボタン、[削除]ボタンは表示されません。

3.8.3 ジョブキューを追加するには

ジョブキュー一覧の[追加]を選択すると、ジョブキューの追加画面が表示されます。各設定項目を入力して[登録]ボタンを選択すると、ジョブキューが追加されます。

ESM/PRO/JMSS - Microsoft Internet Explorer

ESM/PRO/JMSS Version 6.0

JMSSサーバ一覧

SERVER1
SERVER2

設定
ヘルプ
バージョン情報
TOPIに戻る

ESM/PRO/JMSS - USER1 - HOME

ジョブ稼働・監視 スケジュール 業務運用メニュー イベント送信 サーバ環境設定 個人環境設定

サーバ環境設定【編集モード】 ジョブキュー設定 サービス設定 ユーザ設定 SERVER1

ジョブキュー設定

ジョブキュー	詳細
SERVER1	ジョブキュー名 <input type="text"/>
SERVER1	状態 開
SERVER2	ジョブキュー多重度 100
SERVER2	ジョブキュー優先度 8
SERVER3	リトライ回数 5
SERVER3	リトライ間隔 1 分
USERQUEUE1	登録 キャンセル
SERVER1	
SERVER2	
SERVER3	
USERQUEUE2	
SERVER1	
SERVER3	

追加

ジョブ稼働マシン

SERVER1
SERVER2
SERVER3

追加

3.8.4 ジョブキューを削除するには

ジョブ稼働マシン一覧のジョブ稼働マシン名を選択すると、ジョブ稼働マシンの設定画面が表示されます。[削除]ボタンを選択すると、ジョブ稼働マシンが削除されます。

備考：選択したジョブキューがデフォルトジョブキューの場合は、[削除]ボタンは表示されません。

3.8.5 ジョブ稼働マシンを表示・設定するには

コンポーネントバーの[ジョブキュー設定]を選択します。データエリアのジョブ稼働マシン一覧から表示・設定するジョブ稼働マシン名を選択します。



ジョブ稼働マシン一覧のジョブ稼働マシン名を選択すると、ジョブ稼働マシンの設定画面が表示されます。各設定項目を入力して[登録]ボタンを選択すると、ジョブ稼働マシンの設定が登録されます。

3.8.6 ジョブ稼働マシンを追加するには

ジョブ稼働マシン一覧の[追加]を選択すると、ジョブ稼働マシンの追加画面が表示されます。各設定項目を入力して[登録]ボタンを選択すると、ジョブ稼働マシンが追加されます。



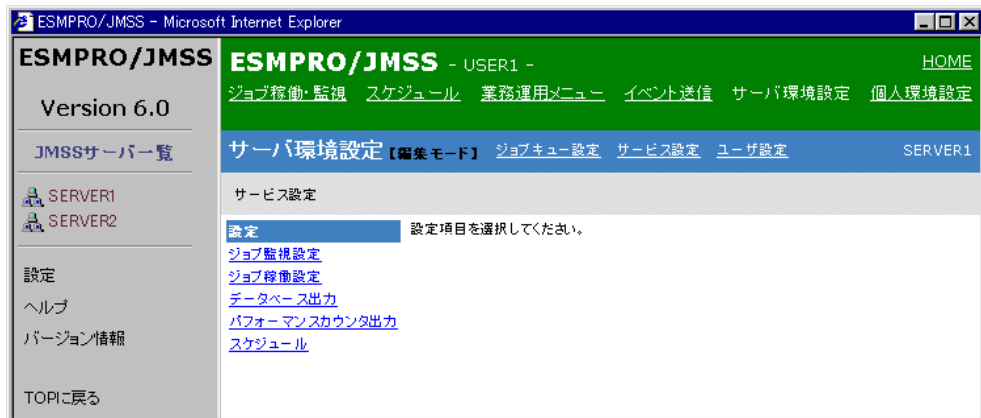
3.8.7 ジョブ稼働マシンを削除するには

ジョブ稼働マシン一覧のジョブ稼働マシン名を選択すると、ジョブ稼働マシンの設定画面が表示されます。[削除]ボタンを選択すると、ジョブ稼働マシンが削除されます。

備考： 選択したジョブ稼働マシンがJMSSサーバの場合は、[削除]ボタンは表示されません。

3.8.8 サービス環境を表示・設定するには

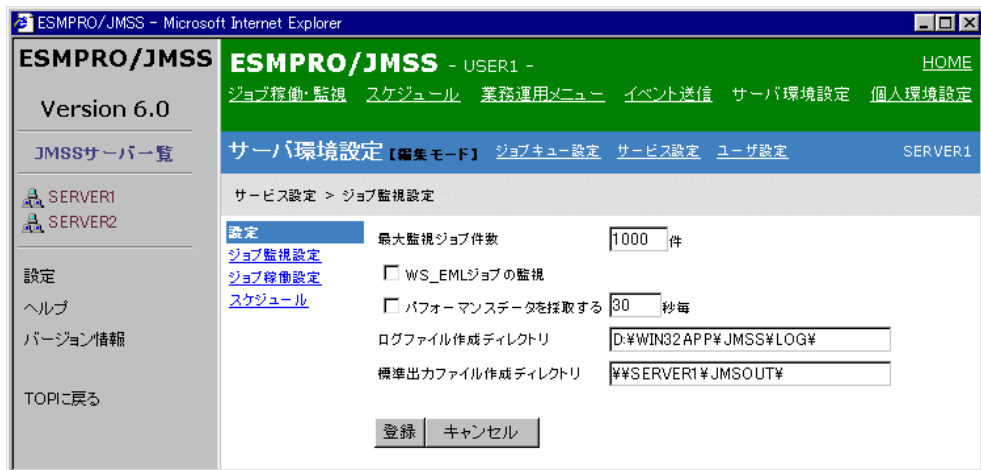
コンポーネントバーの[サービス設定]を選択します。
各項目を設定し、[登録]ボタンを選択すると、設定が登録されます。



3.8.9 ジョブ監視を設定するには

設定一覧の[ジョブ監視設定]を選択すると、ジョブ監視設定画面が表示されます。

ジョブ監視設定では[JMS/JEnv]の[サービス環境]コマンドの[JLook]コンポーネントの[設定1]の項目を設定します。



3.8.10 ジョブ稼働を設定するには

設定一覧の[ジョブ稼働設定]を選択すると、ジョブ稼働設定画面が表示されます。

ジョブ稼働設定では[J MSS/JEnv]の[サービス環境]コマンドの[JLook]コンポーネントの[設定2]と[負荷分散方式]コマンドの項目を設定します。

The screenshot shows the ESM/PRO/JMSS web interface in Microsoft Internet Explorer. The left sidebar contains navigation links: 'JMSSサーバー一覧' (listing SERVER1 and SERVER2), '設定' (selected), 'ヘルプ', 'バージョン情報', and 'TOPIに戻る'. The main content area is titled 'ESM/PRO/JMSS - USER1 -' and includes a 'HOME' link. Below the title bar are tabs for 'ジョブ稼働・監視', 'スケジュール', '業務運用メニュー', 'イベント送信', 'サーバー環境設定', and '個人環境設定'. The 'サーバー環境設定' tab is active, showing sub-tabs for 'ジョブキュー設定', 'サービス設定', and 'ユーザ設定'. The 'サービス設定' sub-tab is selected, displaying the 'ジョブ稼働設定' page. The page has a '設定' button and several configuration options: 'ジョブ起動方式' (set to 'サービインストールユーザアカウントで起動'), '保留ジョブの自動起動設定' (set to '全て保留'), '稼働マシン状態チェック間隔' (set to '30' seconds), '保留ジョブ保存期間' (set to '0' days), and '負荷分散方式' (radio buttons for 'マシン多重度' and 'CPU使用率', with 'マシン多重度' selected). There is also a 'データ採取間隔' (set to '30' seconds). At the bottom are '登録' and 'キャンセル' buttons.

3.8.11 データベース出力を設定するには

設定一覧の[データベース出力]を選択すると、データベース出力設定画面が表示されます。

データベース出力設定では[J MSS/JEnv]の[サービス環境]コマンドの[JLook]コンポーネントの[設定3]の項目を設定します。

本機能は、接続先JMSSサーバが Enterprise Edition の場合に選択できます。

The screenshot shows the ESM/PRO/JMSS web interface in Microsoft Internet Explorer. The left sidebar is identical to the previous screenshot. The main content area shows the 'データベース出力' (Database Output) settings page under the 'サービス設定' sub-tab. It includes a '設定' button and five input fields: 'データソース名', 'テーブル名', 'ユーザ名', 'パスワード', and a checkbox for 'データベースを出力する'. At the bottom are '登録' and 'キャンセル' buttons.

3.8.12 パフォーマンスカウンタ出力を設定するには

設定一覧の[パフォーマンスカウンタ出力]を選択すると、パフォーマンスカウンタ出力設定画面が表示されます。

パフォーマンスカウンタ出力設定では[J MSS/JEnv]の[サービス環境]コマンドの[JLook]コンポーネントの[設定3]の項目を設定します。

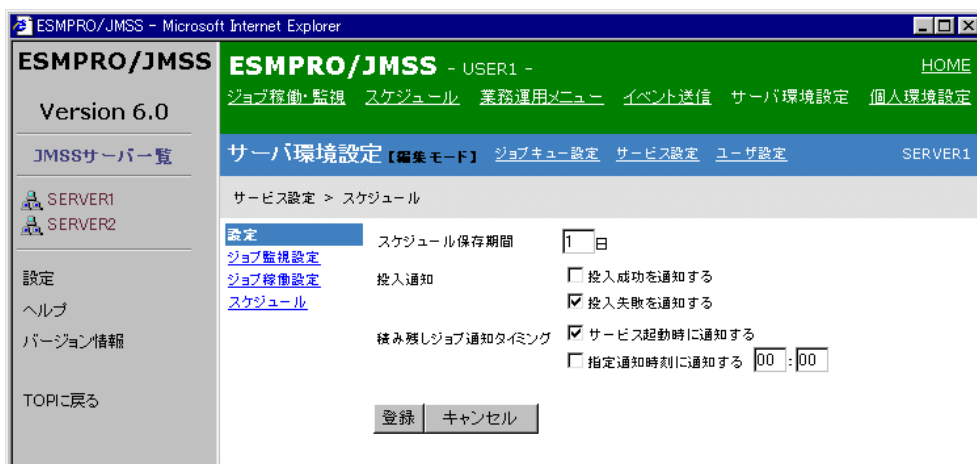
本機能は、接続先JMSSサーバが Enterprise Edition の場合に選択できます。



3.8.13 スケジュールを設定するには

設定一覧の[スケジュール]を選択すると、スケジュール設定画面が表示されます。

スケジュール設定では[J MSS/JEnv]の[サービス環境]コマンドの[JSchedule]コンポーネントの項目を設定します。



3.8.14 JMSS セキュリティを表示・設定するには

コンポーネントバーの[ユーザ設定]を選択してJMSSセキュリティ権利一覧から権利を選択すると、権利情報が表示されます。

各項目を設定し[登録]ボタンを選択すると、JMSSセキュリティが登録されます。

The screenshot shows the ESMPro/JMSS web application in Microsoft Internet Explorer. The left sidebar contains navigation links: "JMSSサーバー一覧" (listing SERVER1 and SERVER2), "設定", "ヘルプ", "バージョン情報", and "TOPに戻る". The main content area is titled "ESMPro/JMSS - USER1 -" and includes a top navigation bar with links like "ジョブ稼働・監視", "スケジュール", "業務運用メニュー", "イベント送信", "サーバー環境設定", and "個人環境設定". Below this is a sub-navigation bar with "サーバー環境設定【編集モード】", "ジョブキュー設定", "サービス設定", "ユーザ設定", and "SERVER1". The breadcrumb trail indicates the current path: "ユーザ設定 > JMSSセキュリティ > セキュリティ設定権". The "JMSSセキュリティ" section is active, showing a list of permissions. The "セキュリティ設定権" section includes a "一覧表示" toggle set to "ユーザ", a "サーバー名" field with "SERVER1", and a "所属するユーザ" list containing "Administrator". Below this is a "所属しないユーザ" list with options like "*Everyone(全てのユーザ)", "BackupUser", "Developer (Developer's)", "Everyone", and "Guest". A checkbox for "ユーザ権利の使用を監査する" is present and unchecked. At the bottom are "登録" and "キャンセル" buttons.

ESMPro/JMSS - Microsoft Internet Explorer

ESMPro/JMSS - USER1 - HOME

ジョブ稼働・監視 スケジュール 業務運用メニュー イベント送信 サーバ環境設定 個人環境設定

サーバー環境設定【編集モード】 ジョブキュー設定 サービス設定 ユーザ設定 SERVER1

ユーザ設定 > JMSSセキュリティ > セキュリティ設定権

JMSSセキュリティ

セキュリティ設定権

他ユーザ監視/強制終了権

メニュー作成/更新権

スケジュール使用権

ILook業務投入権

JMSS利用権

メニュー

初期メニュー登録

一覧表示 ☒ ユーザ ☐ グループ

サーバー名 SERVER1 決定

所属するユーザ

Administrator

↑ 追加 ↓ 削除

所属しないユーザ

*Everyone(全てのユーザ)

BackupUser

Developer (Developer's)

Everyone

Guest

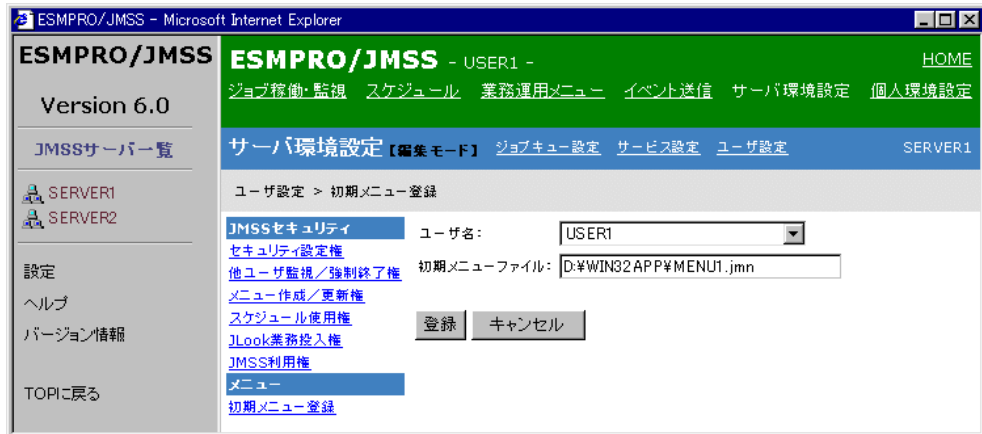
☐ ユーザ権利の使用を監査する

登録 キャンセル

3.8.15 初期メニューファイルを登録するには

コンポーネントバーの[ユーザ設定]を選択し、データエリアの[初期メニュー登録]を選択すると、初期メニューファイル登録画面が表示されます。

ユーザ名および初期メニューファイル名を設定し[登録]ボタンを選択すると、初期メニューが登録されます。



3.9 個人環境設定

Webクライアントの個人環境設定の利用方法について説明します。

3.9.1 個人環境設定を利用するには

ナビゲーションバーの[個人環境設定]を選択します。選択すると、設定画面が表示されます。

ESMPRO/JMSS - Microsoft Internet Explorer

ESMPRO/JMSS - USER1 - [HOME](#)

[ジョブ稼働・監視](#) [スケジュール](#) [業務運用メニュー](#) [イベント送信](#) [サーバ環境設定](#) [個人環境設定](#)

個人環境設定 SERVER1

個人環境設定

ログ表示

1ページあたりの表示件数 件

表示開始日 (yyyy/m/d形式 または 設定しない場合は未入力)

自動更新間隔 秒 (設定しない場合は未入力)

ソート順 ☒ 新しいものから ☐ 古いものから

運用メニュー表示

背景色 赤 緑 青

ボタンサイズ 高さ 幅

1列中のボタン数

ジョブ起動確認 ☒ する ☐ しない

ジョブネット表示

表示方法 ☒ 名称のみ ☐ アイコンのみ ☐ 名称+アイコン

名称表示 ☒ 業務名 ☐ ジョブ名

個人環境設定は、「接続先JMSSサーバ名 / ユーザ名」毎にWebクライアントに登録されます。

3.9.2 ジョブ稼働・監視の画面表示を設定するには

[ログ表示]グループの各項目を設定すると、ジョブ稼働・監視画面の表示を設定することができます。

項 目	説 明
1 ページあたりの表示件数	1 ページに表示する件数を指定します。最大 1000 件までの指定ができます。 大きな値を指定しますと、ブラウザやシステムの処理能力が低下する場合がありますのでご注意ください。
表示開始日	指定した日付以降のジョブ情報が表示されます。日付を指定しない場合は空白にしてください。
自動更新間隔	指定した間隔毎にジョブ情報が自動的に更新されます。指定範囲は 10 ~ 360 秒です。自動更新をしない場合は空白にしてください。
ソート順	新しいものから 日付の新しいジョブ情報から降順に表示されます。
	古いものから 日付の古いジョブ情報から昇順に表示されます

3.9.3 業務運用メニューの画面表示を設定するには

[運用メニュー表示]グループの各項目を設定すると、業務運用メニュー画面の表示を設定することができます。

項 目	説 明
背景色	業務運用メニュー画面の背景色を 0 ~ 255 の範囲で指定します。
ボタンサイズ	業務アイコンの大きさを 34 ~ 200 の範囲で指定します。
1 列中のボタン数	1 列に表示する業務アイコンの数を 1 ~ 40 の範囲で指定します。
ジョブ起動確認	する ジョブ投入の際に確認ダイアログが表示されます。
	しない ジョブ投入の際に確認ダイアログが表示されません。

3.9.4 ジョブネット状況表示の画面表示を設定するには

[ジョブネット表示]グループの各項目を設定すると、ジョブネット状況表示において設定された形式でボックスが表示されます。

項 目	選択肢	説 明
表示方法	名称のみ	ジョブボックスが業務名(またはジョブ名)で表示されます。
	アイコンのみ	ジョブボックスがアイコンで表示されます。
	名称 + アイコン	ジョブボックスが業務名(またはジョブ名)とアイコンで表示されます。
名称表示	業務名	ジョブボックス内に業務名が表示されます。
	ジョブ名	ジョブボックス内にジョブ名が表示されます。

ESMPRO[®]/JMSS[®] Webクライアント
(Windows[®] 2000版)
ユーザーズマニュアル
2001年 7月 初 版

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

開発 N E C ソ フ ト 株 式 会 社
東京都江東区新木場1-18-6
TEL(03)5569-3333(大代表)

(C)NEC Corporation/NEC Soft, Ltd.1998,2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改編などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。